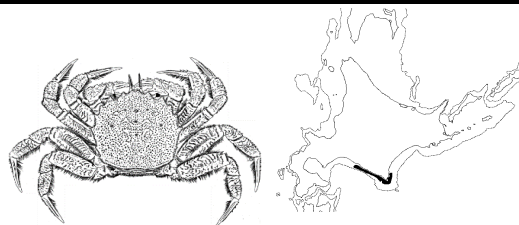


# 35.ケガニ

主な漁業と漁期  
かにかご

日高西部：1月中旬～翌3月下旬  
日高東部：12月上旬～翌2月下旬



## 日高海域

### 生態

#### ◆分布・回遊

雌雄ともに季節的な深淺移動を行い、1～5月は水深20～60m、9～10月は水深100～110mが主分布域となります。漁獲対象サイズ（甲長8cm以上）のオスは大きな水平移動をしません。

#### ◆産卵期・産卵場

◎産卵期：7～8月と11～翌4月の2群があるとされています。幼生ふ化期は1年以上経過した3～4月です。

◎産卵場：不明です。

◎産卵生態：交尾・産卵はメスの脱皮に合わせて2～3年ごとに行われます。交尾から産卵までは半年以上を要し、メスは産卵後、受精卵を自分の腹肢に附着させ、幼生がふ化するまで保護します。

#### ◆成長・成熟

	甲長(mm)		体重(g)	
	オス	メス	オス	メス
2歳	51	42	66	35
3歳	63		135	
4歳	76		247	
5歳	89		416	
6歳	89		416	
7歳	103		664	
8歳	103		664	

\*) 2002～2012年の測定データ、三原ら(2016)、Abe(1992)より  
\*) 加齢の基準日：4月1日

◎成熟年齢・甲長

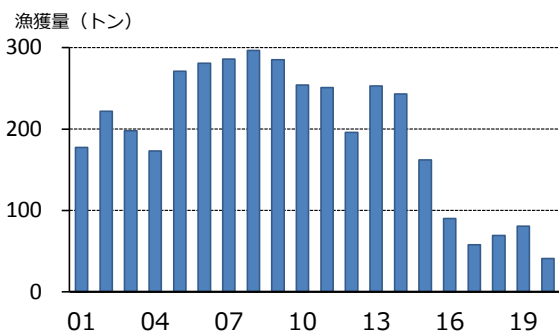
- ・オス：平均甲長51mm、2歳から成熟する個体が見られます。
- ・メス：平均甲長42mm、2歳から成熟する個体が見られます。

### 資源評価

[評価年] 4月～翌3月

[資源水準の指標] 資源調査による資源量指数

2020年度の漁獲量は41.1トンと、前年に比べ減少しました。2020年度の資源水準は低水準で、翌年にかけての資源動向は減少と判断されました。本資源を対象とする漁業は知事許可のけがにかご漁業に限定され、漁獲量、漁期等が厳しく制限されていますが、2020年の資源水準は低水準になっていることから、より適切な資源利用を図る必要があります。



2020年度  
の水準



低水準

2021年度  
の動向

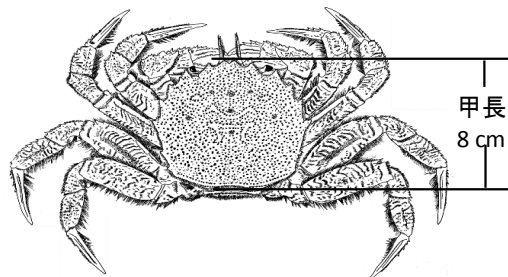


減少

### 資源の維持・増大のために！

資源管理の現状(主なもの)

- 北海道漁業調整規則  
メスおよび甲長8cm未満のオスの採捕が禁止されています。
- 許可の制限条件等  
許可隻数、漁期、かご数・目合の制限をしています。また、毎年資源評価に基づき、許容漁獲量を定めています。



☆現状の措置を遵守すると同時に、より適正な資源利用を図る必要があります。また、密漁対策を継続していく必要があります。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係  
北海道立総合研究機構 栽培水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477

電話 0143-22-2327